

# 文教授会回答を拒否！

昨日、対文教授会要求行動決裂！！

正副委員長  
またしても裏切り行為！  
文学部自治会常任委員会 行爲！  
'68 6.20

登校された全ての学友諸君、就中文学部の自治会員諸君！

昨日50余名の学友の結集の下に、文教授会に対する大衆的な要求行動が斗い抜かれた。我々の要求は次の如くであった。

- オ一 文教授会は調査計上阻止声明を公表せよ！
- オ二 文教授会はMP委解散要求声明を公表せよ！
- オ三 文教授会は対評議会回交をあっせんせよ！
- オ四 二者協議会を設置せよ！

以上の要求は、12日学生大会、度重なる教授団回交において明らかになされてきた要求である。更に、我々文学部常任委員会は、14日の西〇〇余名の参加をもって斗い抜かれた学長、進阻止斗争に対する「処分」が企まれるという事態に対して、昼休み掲示板前総決起集会でもち、星野文学部長に、教授会で前記の要求を審議し回答をよこすよう要請した。ところが9時すぎになって彼等が回答したことには、「文学部常任委員会と正副委員長とから、二通りの要望書が出ている。単一の自治会から二通りの要望書が出るのはおかしい。双方ともに答える訳にはいかない」というのである。

つまり大衆的な情宣と、総決起集会の後、50余名の学友の結集のもとに提出された常任委員会の要望書と、要望行動を故意に妨害する為、大急ぎでデッチ上げられた「要望書」(手書きでなされその文面は全く明らかにされてない)とが二つ存在したのである。我々常任委員会は、正副委員長が何ら常任委員に話すことなく、又我々の要望行動が行われるのを承知の上で分裂策動を行い、文教授会に回答拒否の口実を与えた事と、強く抗議する。又自治会の要望書は一つしか存在しないのであり、ここにおいて、ただ常任委員会の活動が妨害せられぬのみなされたこの行為について、正副委員長へならびにその事を知つていながら常任委員の多くに押し、話す必要はない」と一言も伝えなかつた高田常任委員に自己批判を要求する。

■調査計上阻止の軌跡を強化せよ！クラス斗争委員会を確立しよう！  
又学部の全ての学友諸君！来る26日定例教授会、及び定例評議会が持たれようとしていいる。そこにおいて6月末の概算要求に評議会決定によって筑波調査計上となすべく企てられている。調査計上はいうまでもなく殺戮実質化の最終的なものである。これを阻止していくことにより汚職にくさびを打ち込むことが現在喫緊に迫られている。その為にも各クラスサークルにおいて学長進阻止斗争の総括作業と、調査計上阻止にむけての斗争主体の確立にクラス斗争委員会の設置を軸としたクラス計上の強化を勝ちとる必要があると考えます。

■明日21日の文学部緊急自治委員会へ記集せよ！  
我々常任委員会は、この向の斗争における正副委員長の任ム放棄と要がくれに対し、今後の方針を確立すべき場を明日21日の自治委員会と25日の学生大会に設定し、大衆的に署名を集めてそれらをかちとった。昨日の自治委員会では、調査計上阻止の総括と調査計上阻止にむけていかなる方針を打ち出すかが主要な議題となし、決定しうるだろう。全ての自治委員諸君は、クラス討議を交えて、明日の自治委員会へ記集され人車と文学部自治会常任委員会は心から期待している。